

体育科

昨年度の取り組みと成果と課題

【 成果 】

- ・運動領域によって準備運動時にストレッチを取り入れることで、令和7年度の体力テストでは長座体前屈がほとんどの学年で全国平均よりも概ね高い傾向であった。
- ・休み時間などに外へ出て意欲的に体を動かす児童が増え、運動の日常化を図ることができた。

【 課題 】

- ・令和7年度の体力テストの結果では、反復横跳び、50メートル走、立ち幅跳びが平均より下回っている。
- ・一学級一取組を実践し、体を動かす楽しさを味わわせ、体力を向上させていくことが課題である。

学習状況の分析

○知識・技能

- ・令和7年度体力テストの結果から、瞬発力に課題がある。
- ・運動経験に差があり、体育の時間に技能面で苦手意識がある児童がいる。
- ・健康や安全については理解し、知識も身に付いてきている。しかし、思わぬけがをしてしまうなど、実生活で生かすできていない場合もある。

○思考・判断・表現

- ・ペア学習やグループ学習を学習計画に取り入れたことで、相互に声をかけ合ったり、学び合ったりする姿勢が見られる。
- ・体を動かす必要性や目的意識をもって取り組めていない現状がある。
- ・一人一人が学習課題をもち、運動の方法や動きの工夫、課題解決などを自分で考えながら実践する力が不足している。

○主体的に取り組む態度

- ・安全に活動するためにルールを守ったり、準備・片付けにすすんで取り組んだりすることが難しい児童が一部いる。
- ・運動領域によって得意不得意が顕著であり、マット運動や鉄棒などの器械運動では、課題が難しくなるにつれて、ねばり強く運動に取り組もうとする意欲が低くなる傾向がある。
- ・勝ち負けのみに固執してしまい、運動の楽しさに目を向けることが難しい児童が一部いる。

授業改善のポイント（観点別）

【 低学年 】

○知識・技能

- ・いろいろな動きを身に付けさせるために、体全体を使った多様な動きを遊びの中で経験できるように、教材や場の設定の工夫をしていく。また、休み時間や放課後にも、意欲的に運動に取り組めるように、授業時に動きを称賛することで、体を動かすことの楽しさを味わわせる。
- ・先生や友達と一緒に運動の楽しさに触れ、技能も習得できるようにする。

○思考・判断・表現

- ・ICTを活用し、正しい動きの動画を視聴させることで、見通しをもたせる。
- ・楽しく運動できる場や動きの例を用意し、自分に合った場を選んだり、様々な動きに挑戦したりできるような工夫をする。

○主体的に取り組む態度

- ・きまりを守り、安全に気を付けながら運動に取り組めるように、継続的に指導していく。
- ・安全や健康について意識した行動がとれるように、継続的に指導していく。

【 中学年 】

○知識・技能

- ・基本的な技能を確実に習得させ、課題となる体幹部分の強化のために、コーディネーショントレーニングを取り入れる。
- ・食事・運動・休養及び睡眠について自分の生活を見直し、正しい生活習慣を身に付けることのよさを理解させ、実践させていく。

○思考・判断・表現

- ・ICTを活用し、自分の動きを可視化させ、振り返りができるようにする。
- ・動きのポイントが分かり、さらに楽しく運動ができるように考え、発表する場を設ける。
- ・みんなが楽しめるように、クラスの実態に応じたルールを考えられるようにする。
- ・友達のよい動きを見付け、発表し全体に広げる活動を取り入れる。

○主体的に取り組む態度

- ・課題解決を目指し、自分の力に合った適切な目標を設定することができるようなルールや場づくりをして、達成する喜びを味わわせる。
- ・2年間を見通し、高学年に繋がる様々な運動を経験させ、運動の楽しさを味わわせる。

【 高学年 】

○知識・技能

- ・習得した技能を活用し、動き方や練習の仕方などを探究できるような場を設け、課題の解決に向けて場を選択させる。
- ・けがや病気などの予防について知識として理解するだけでなく、実践できるように声かけを行っていく。さらに、振り返りカードなどを活用して、自分の行動や生活について見直す機会をつくる。
- ・薬物乱用が健康に与える影響や生活習慣等に関する課題を見付け、自分の生活を振り返り、解決のための知識の習得を目指す。

○思考・判断・表現

- ・ICTを活用して自分の動きを確かめることで、新しい動きや作戦に気付かせる。
- ・友達と関わり合い、課題解決の仕方を話し合い、工夫して運動に取り組ませていく。
- ・個人だけでなくグループで励まし合ったり、助言をしたりして、課題解決を目指していく。

○主体的に取り組む態度

- ・授業の中で「関わり」を意図的に作り出すことにより、協力する姿勢や公正な態度を育てる。